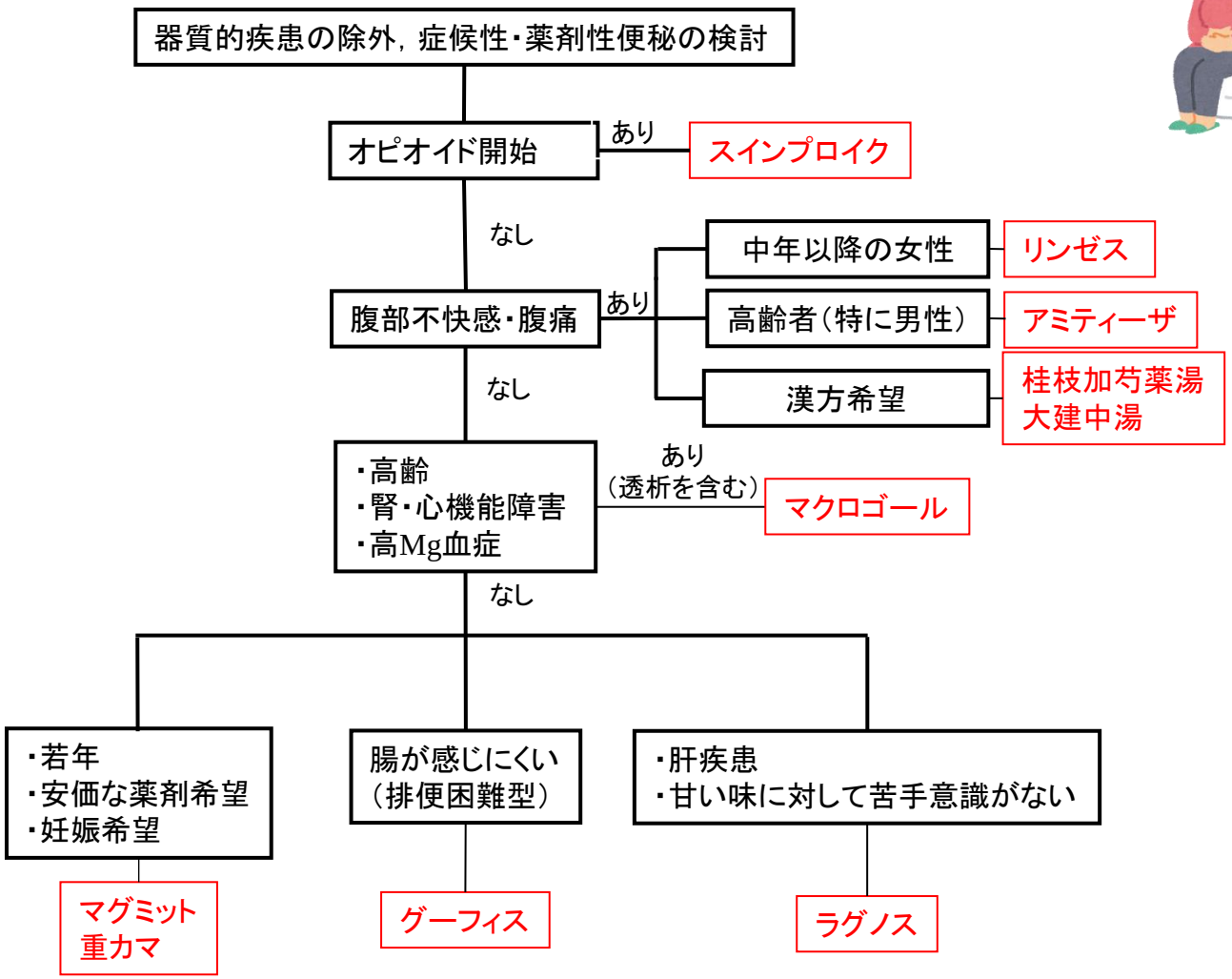
霧島市立医師会医療センター
薬剤部　DI ニュース
No. 295
2022年07月

便秘治療薬

慢性便秘症診療ガイドラインにおいて、便秘とは「本来体外に排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない状態」と定義されています。すなわち、「便秘」とは状態名です。さらに、慢性便秘症とは「排便回数の減少」、「硬便」、「便排出障害」といった便秘による症状に対して検査や治療が必要となる疾患です。
現在、多数の便秘治療薬が発売され様々な治療薬の選択が可能になりました。
そこで今回は、便秘治療薬選択のアルゴリズムと各薬剤の特徴についてまとめました。

≪便秘症の治療薬選択のアルゴリズム≫



≪整腸剤≫

腸内細菌叢の正常化を目的に使用されます。代表的な整腸剤についてまとめました。
・乳酸菌：主に小腸に存在し乳酸を産生する。（薬剤例：ビオフェルミンR）
・ビフィズス菌：主に大腸に存在し、乳酸と酢酸を産生する。（薬剤例：ビオフェルミンR・ラックビーN）
・酪酸菌：小腸で芽胞を形成し、大腸で増殖、酪酸を産生する。胃酸に抵抗性あり。（薬剤例；ミヤBM）

≪便秘治療薬一覧≫

分類	主な薬剤名	効能効果	特徴
浸透性下剤	(塩類下剤) マグミット 	十二指腸潰瘍、胃炎、 上部消化管機能異常、便秘症	作用発現には胃酸が必要であり、 PPIなどの併用で作用減弱の 可能性あり。高Mg血症に注意が必要となる。
	(塩類下剤以外) モビコール 	慢性便秘症	1包を約60mL の水で溶解し内服する。味は若干塩味であるが、内服困難時は水以外でも内服できる。
	ラグノス 	慢性便秘症、高アンモニア血症	糖類下剤であるが、血糖への影響が少なくDM患者でも使用できる。他の便秘治療薬で効果不十分の場合にのみ使用できる。
刺激性下剤	センノシド 	便秘症	効果発現まで6〜8時間と比較的早い製剤であるが、依存性や耐性が出現するため短期間の使用推奨される
	ピコスルファートNa 	便秘症	効果発現まで6〜8時間と比較的早い製剤であるが、依存性や耐性が出現するため短期間の使用推奨される
上皮機能変容薬	アミティーザ 	慢性便秘症	妊婦には禁忌 副作用の嘔気は食直後に内服することで予防できる。
	リンゼス 	慢性便秘症、 便秘型過敏性腸症候群	内臓痛を改善させる効果もある。 0.5mgから開始する。
胆汁酸トランスポーター阻害剤	グーフィス 	慢性便秘症	大腸へ流入する胆汁酸を増加させ、消化管運動促進を起こすことで便秘を改善する。
漢方薬	(大黄含む) 大黄甘草湯・麻子仁丸	便秘症	依存性や耐性が出現する。
	(大黄含まない) 桂枝加芍薬湯・大建中湯	常習便秘、宿便	依存性や耐性が出現しにくい。 術後のイレウス予防に用いる。
膨張性下剤	カルメロースナトリウム	便秘症	硬化便を物理的に軟化する。
	ポリフル 	過敏性腸症候群における 便通異常	合成高分子化合物であり、水分バランスをコントロールする。適応は過敏性腸症候群に限定される。
末梢性オピオイド受容体拮抗薬	スインプロイク 	オピオイド誘発性便秘	消化管のオピオイド受容体に結合しオピオイド鎮痛薬による便秘に対して効果を発揮する。

分類	主な薬剤名	効能効果	特徴
大腸刺激性下剤（坐薬）	テレミンソフト 	便秘症	結腸・直腸に作用して蠕動運動を促進する。 高温を避けて室温保存できる。
	新レシカルボン 	便秘症	腸管内で炭酸ガスを発生し、蠕動運動を亢進する。耐性は生じない。
浣腸剤	グリセリン浣腸液 	便秘症	腸管からの水分吸収に伴う刺激作用により蠕動を亢進する。また浸透作用により糞便を軟化・膨張化させる

＊赤字は当院採用あり

参考文献:各薬剤添付文書
Rp+ 2022年春号
薬剤部 山本